

平成 27 年度 大雪山国立公園表大雪地域

登山道関係者による春季情報交換会

【議事録】

平成 27 年 6 月 9 日(月) 14 : 30~16 : 40
美瑛四季の情報館 会議室

時間	担当	内容
14:32	東川自然保護官事務所岸田	平成 27 年度大雪山国立公園 表大雪地域登山道関係者による春季情報交換会を始めます。皆様にはシーズンイン直前の何かとお忙しい中をご出席賜りまして、誠にありがとうございます。本日の司会進行役の東川自然保護官事務所の岸田と申します。どうぞよろしく願いいたします。 はじめに上川自然保護官事務所の野川自然保護官より挨拶を申し上げます。
14:34	上川自然保護官事務所野川	皆さん、こんにちは。上川自然保護官事務所の野川です。 本日は、行政、山岳会、山関係者が一同に集まって頂きました。この会は今年の活動についての共有と、山にある課題を情報交換・意見交換を行う会としたいと思います。 忌憚ない意見を交わしながら、どうお客様に歩いて頂くか、どう自然を保護していくかを考えながら情報共有をしていきたいと思っています。ご意見よろしく願いします。
14:35	東川自然保護官事務所岸田	それでは出席者のご紹介をいたします。大変多くの方にご出席頂いておりますので、私の方で読み上げさせていただきます。 《出席者紹介》 次に資料を確認させていただきます。 《資料の説明》 資料の不足等ございましたら、お知らせ下さい。よろしいでしょうか？ ないようですので早速ですが、情報交換に入らせて頂きます。各機関・団体等の今年度の活動予定は、事前にアンケートを取っています。資料 1 に一覧、資料 10 に作業箇所を落とした地図があります。各機関から、説明をお願いしたいと思います。 まず、はじめに環境省の事業から説明いたします。 《環境省 資料説明》 それでは資料の順番に活動内容と補足事項の説明をお願いいたします。
14:43	上川中部森林管理署 本間	《資料説明》
14:45	上川南部森林管理署 南部	《資料説明》 補足として、これまで 2 人だった GSS が予算の都合上 1 名となりました。
14:48	上川総合振興局 環境生活課 志水	《資料説明》 補足、地域戦略プロジェクトとは、山岳ガイドの方に来て頂いて行う、普及啓発をメインとしたツアーです。高山植物の保護、携帯トイレの使い方、登山道の侵食などをガイドの皆さんから参加者にレクチャーしてもらいたいと考えています。 9 月 6 日(日)の登山道保全技術セミナーは山樂舎 B E A R の佐久間さんと共催で開催し、北海道山岳整備の岡崎さんを講師にお呼びして、登山道の補修をしたいと考えています。
14:55	上川総合振興局 南部森林室 山野	《資料説明》
14:57	上川町 瀧上	《資料説明》

15:00	美瑛町 総務課 石井	<p>資料は用意していませんが、十勝岳防災施設について現状の情報提供をします。</p> <p>望岳台にある旧レストハウスは美瑛町で買い取り、平成27年8月一杯解体をして、火山待避舎を建設予定です。9月から本体工事となります。旧レストハウスが570平米あるので、それと同程度か若干小さい位の建物で、一人分のスペースが畳一枚として100人入れる大きさの予定。トイレも100人が使える規模を予定していて、避難物資も貯蔵したいと思います。計画では平成27年8月実施設計終了、9月から工事をし、平成28年8月末に完成予定。レストハウスは白金温泉から4km水を引いていましたが、新施設もレストハウスで作った場所から年内に水を引きたいと思っています。气象台・開発局の観測機器も中に入れ、リアルタイムな情報が得られるようにして、登山届の提出もここでできるようにしたいと思っています。</p> <p>次にジオパークの件も情報提供します。今年4月、十勝岳山麓ジオパーク協議会が美瑛町と上富良野町の2町で発足しました。近日中に全日本ジオパーク委員会の審査員が現地視察に来てテーマ等検討します。平成29年8月のジオパーク認定を目指しています。詳細は美瑛町HPを見てもらえれば、進捗状況等確認出来ますので、見てみてください。このジオパークの基本はあくまで防災という観点が主であり、観光がメインではないです。</p>
15:08	旭川山岳会 土屋	《資料説明》
15:10	美瑛山岳会 内藤	《資料説明》
15:14	富良野山岳会 秋葉	<p>《資料説明》</p> <p>5年前に原始ヶ原滝コースの丸太橋が倒壊し通行止めになっていましたが、去年10月末に丸太橋の架け替えをしました。また、本来の滝コースを入山して15分ほどの場所が土砂崩れで崩落していて、そこが一番危険なので、そこは通さないように林間コースを歩いてもらって、不動の滝から滝コースに下りるルートにしようと思っています。昨日チェックに行き、風倒木もそれほど問題なく行ける状態となりましたので、お知らせします。</p>
15:16	層雲峡ビジターセンター 片山	<p>《資料説明》</p> <p>6月から週1回黒岳、赤岳、緑岳の山の情報をHPで提供、HPの記載を多言語化、年間50回自然観察会、昨年度は中国語スタッフを配置したが、今年は中国語と英語のスタッフも配置予定です。</p>
15:18	東川自然保護官事務所 岸田	《大雪山国立公園パークボランティア連絡会の活動の資料説明》
15:22	大雪山国立公園研究者ネットワーク 小林	《資料説明》
15:29	北海道大学大学院 愛甲	<p>《資料説明》</p> <p>東日本林業経済研究会の資料の日付の訂正 9/24、25→8/24、25。 山形大学の先生をお呼びして、朝日・飯豊連峰の調査のお話や協働型管理などをお話して頂いて勉強会を行います。</p>
15:31	山のトイレを考える会 愛甲	<p>《資料説明》</p> <p>今年度から北海道内の山岳団体に声をかけ、美瑛富士トイレ管理連絡会が発足しました。美瑛富士避難小屋に試験的に設置する携帯トイレブースを、当番制でパトロール・清掃することになりました。</p> <p>回収ボックスは白金観光センターさんのトイレの裏に置き、美瑛町さんに回収をして頂きます。また縦走する方のために、十勝岳温泉に回収ボックスを設置させてもらうために現在上富良野町さんとも相談しています。</p> <p>また大雪山国立公園パークボランティア連絡会からもパトロールに協力いただけるという連絡が来ているので、計10団体が美瑛富士トイレ管理連絡会に入ることになりました。</p>
15:35	山の便り工房 佐藤	《資料説明》
15:40	北海道山岳整備 岡崎	<p>《資料説明》</p> <p>登山道整備の前後は雰囲気が変わってしまうことがあるので、出来るだけ自分が施工したところは記録をつけるようにしているので、秋の情報交換会ではそれを見てもらえたらと思っています。</p>
15:41	山楽舎BEAR 佐久間	《資料説明》

15:45	大雪と石狩の自然を守る会 寺島	<p>《資料説明》</p> <p>3年前から外来種セイヨウオオマルハナバチの調査をしています。大雪山の侵入が予想される十勝岳温泉、旭岳温泉、層雲峡温泉のルートを決めて、旭川マルハナバチ市民ネットワークと協働してやっています。</p>
15:48	NPO法人 大雪山自然学校 荒井	《資料説明》
15:48	NPO法人か むい 濱田	《資料説明》
15:50	東川自然保護 官事務所 岸 田	<p>《北海道山岳ガイド協会池永氏、黒松内銀竜草の会、(有)自然環境コンサルタントの作業箇所を代読》</p> <p>資料に活動が記載されていない団体、補足がある方などいらっしゃいますか？</p>
15:52	アースウィン ド 横須賀	<p>アースウィンドは高山植物の開花情報調査を15年やっていますが、今年わかったデータがあるのでお知らせします。5月下旬～9月中旬まで花が開花してから結実するまで大雪山に三日に一回通い、同じ場所・同じ花・同じ時間に定期的に調査をする地道な活動をしています。その結果、160日で155件の情報が集まりました。今年成功した解析結果が三つあり、是非お知らせしたいのが解析結果その2の温度変化から開花を予測する基礎データです。ガンコウランが開花してから結実するまでの日数は、積算温度60度であることなどがわかりました。詳細は「リサーチ登山花ボラ ニュースレター」に記載があるので、興味のある方は資料をお渡しするのでメールをください。</p> <p>他には大雪山の縦走ツアーを年間5～7本やっています。</p>
15:57	東川自然保護 官事務所 岸 田	<p>他に補足等ありませんでしょうか？</p> <p>《意見無し》</p> <p>ないようなので、それでは意見交換に入りたいと思います。ご意見・ご質問等ありませんか？</p> <p>《意見無し》</p> <p>ないようなので、環境省から管理水準と整備技術指針について情報提供を行っていきます。</p>
15:58	上川自然保護 官事務所 野 川	《管理水準、パブリックコメント、指導標識検討案の資料説明》
16:15	ガイドオフィ ス風 鳥羽	<p>指導標識のローマ字はネイティブの人にチェックしてもらった方がいいのでは？</p> <p>「Sugataminoike Pond」は池が二つあるし、「Mt.Hokuchin-dake」は岳が二つあることになる。日本中で問題になっているので、確認した方がいいと思う。</p>
16:15	上川自然保護 官事務所 野 川	観光庁のガイドラインが有り、全国的に統一した方が良く、それに沿うと、例えば黒岳も「Mt.Kuro」ではなく「Mt.Kuro-dake」に表記をしなければならないのです。
16:16	りんゆう観光 植田	サンプルを見て思ったのですが、慣れている人は「姿見の池」の指導標識を見たときにそこに行けばロープウェイがあることはわかるが、知らない人が見ても姿見の池に何があるかわからない。なので、その先には何があるのか、登山口があるのか、ロープウェイがあるのか、地名だけではないそういったことも情報として盛り込めたら遭難防止になると思う。
16:17	上川自然保護 官事務所 野 川	他の国立公園では指導標識自体に小さい地図が付いていたりすることもあります。あまりゴチャゴチャすると見づらいですが、参考にさせてもらいたいと思います。
16:17	ガイドの山小 屋 三浦	新しい標識を付けるということですが、現在色々な種類の色々な看板がありますが、古い指導標識、ピンクテープ、看板はどうなるのですか？看板にも同じ場所までを示しているのに距離が違ったりするものもあります。日本の看板には「自然を大切にしましょう」などメッセージも載っていたりしてゴチャゴチャしている。個人的には古いのは撤去して、統一して欲しいと思います。
16:18	上川自然保護 官事務所 野 川	撤去計画を考えながら新しいものを作る必要がありますので、各々の設置者があることから各者と調整を行います。今回の指導標識も出来るだけ統一したいと思っていますが、結果、下ろす労力がないものがあったりします。その場合は皆さんにご協力をお願いすることもあるかもしれません。よろしくお願ひします。
16:20	アースウィン ド 横須賀	先ほどの地名の件になりますが、英語表記で考えるとふさわしくないと思いますし、ガイドの面からも、自然保護団体の面からもこの表記はおかしいと、よく話題になります。表記に関しては今一度意見を聞くような機会を設けてもらいたいと思います。

16:21	上川自然保護官事務所 野川	外国人に固有名詞としてわかっているものだとそのまま使えるのですが、山か池かもわからないものだと統一する必要があると思います。日本中が統一しているのに、この地域だけ地域ルールにしているのかな、と思うところがあります。
16:21	北海道大学大学院 愛甲	観光庁が多言語対応のガイドラインを作ったので、昨年環境省もそれに合わせて施設整備の際には統一した多言語化対応をすることに決めました。国土交通省の道路標識が統一されているように、環境省の表示も統一しなければ逆に混乱を招く恐れがあります。独自性を出して、大雪山はある程度地域ルールの地名にしてもいいのでは、とも思いますが、全国ルールと地域ルールと標識に関してはバランスが難しいと思います。 ピクトグラムも本来は国の規準が有り、あんまり増やしたりすることが出来ないのです。環境省で作っている登山道のピクトグラムは種類しかないのですが、検討会で大雪山グレードを変えて登山道のレベルがそれぞれ違うことを表示するためにバリエーション毎にピクトを変えてもいいだろうという結果になり、大雪山グレードのピクトグラムは作りました。地名についても独自性を出すのはいいですが、地域ルールの地図表記と、海外の人が持ってくる地図表記はそろえる必要があります。逆に我々の方で統一したものを作れば海外の人も混乱しないと思います。
16:23	山樂舎BEAR 佐久間	今の意見と近いですが、地名表記のところでは管理水準の会議でも我々は何度も議論を重ねました。観光庁が決めたガイドラインがあり、その次に国土地理院が決めたものがある。基本的にヘボン式ローマ字で表記することになっていますが、アイヌ語の表記方法はヘボン式で表記するって言うのは今はやられていなくて、アイヌ語の独自の表記方法があったりします。旭川市ではアイヌ語表記の委員会でも地名について物凄く長時間に渡って議論をしていて、ここまで議論をしてこの一つの地名を決めるのか、といったこともあるので、この場で地名表記について我々が決めるのはおかしいと思います。
16:24	風の便り工房 佐藤	佐久間さんの意見に賛成します。地名を統一しようとしたら、それだけでかなりの時間を費やすような会議の場を設けなければなりません。ここだけでは決めきれません。
16:24	上川自然保護官事務所 野川	ここは情報交換の場ですので、ここだけでは決めきれないものもあります。全国的なルールがあって、全国的にこうなっていますということをお示しすることは出来ますが、それ以上のことはこの場では難しいと思います。皆さんの方で更にご意見があるようでしたら一緒に考えていきたいと思っています。
16:25	NPO法人かむ 濱田	指導標識を作るのはわかったのですが、山頂標識がない山があり、山のピークに何も無いのはどうか、と思います。山頂標識は作らないのでしょうか？
16:25	上川自然保護官事務所 野川	優先順位を決めたときに、私達がやるのはまず指導標識だと思い、そこから手を付ける予定でいます。そこからいずれ、先へ進めたらとは思いますが、山頂標識については北海道さんが作った比較的統一された標柱があるのでそれを残そうとしています。
16:26	北海道大学大学院 愛甲	登山道管理水準の全体についてですが、前回せっかく作ったのに登山者にも関係者にも知られていませんでしたが、今回は大雪山グレードと保全対策ランクを分けました。グレードに関してはこの場にいる皆さんのお力をお借りして広報をして伝えて頂く必要があります。今年は管理水準の広報の年だと思っています。夏山シーズンはじまる前に管理水準は完成させてもらって、ピクトの色を知ってもらう、登山口で看板を見逃したら、指導標識のピクトの意味がわからなくなってしまうので、地図に載せるとか色んな形で広報するのが必要だと思っています。
16:26	北海道山岳ガイド協会東大雪地区連絡調整室 小早川	登山道管理水準はいつ完成ですか？早くしないと夏山シーズンがはじまってしまいます。
16:26	上川自然保護官事務所 野川	登山道管理水準の正式発表は近々です。
16:26	北海大学大学院 愛甲	夏山シーズンがはじまる前に完成させて、ピクトの意味とグレードについてA4一枚紙くらいにして登山口で手に取れるようになっていると本当はいいと思います。
16:26	上川自然保護官事務所 野川	グレード1～5まで表示されたものと、色分けされたものがセットされたものをマスコミ向けにこういうものがあります、とお知らせ出来るようなものを作れるようにしたいと思います。
16:27	アースウィンド 横須賀	大雪山利用体験ランクとは、大雪山に来るのが初めての人が自分が行く道はどのグレードなのか認識してもらうための誘導なのですか？
16:27	上川自然保護官事務所 野川	そうです。一般の方向けには大雪山グレードを知ってもらいたいと思っています。登山口の看板には保全対策ランクではなく大雪山グレードの色分けのみを示します。保全対策ランクについては、このような関係者の場で活用し、登山道を補修するときなどに活用したいと思っています。

16:28	東川自然保護官事務所 岸田	《資料1 3説明》
16:33	ガイドの山小屋 北村	私はニュージーランドでガイドをしています。日本人の中年女性のお客さんが多く、ニュージーランドの木道を歩いたとき皆さん必ず言うのが「滑らなくて良い」と言います。こちらの木道の上には100%ネット（家禽の小屋に使用するような六角形の金網）が張ってあるのがスタンダードで、日本人のお客さんがこれは滑らなくていいと感心しています。なので、日本の木道もネットを張って滑り止めをしたらいいのではと思います。 昨日、勇駒別湿原の木道を歩きましたが、又ル又ルで滑りやすかったです。滑る注意喚起の看板よりもネットを張るなど滑らないようにした方がいいと思います。
16:35	東川自然保護官事務所 岸田	そこは東川自然保護官事務所管内の木道です。滑ることは承知したので、どうすればいいのかまさに考えている最中でした。貴重な事例と意見を頂きましたので参考にさせていただきます。ありがとうございます。
16:36	北海道山岳ガイド協会東大雪地区連絡調整室 小早川	大雪山グレードの広報の仕方は紙媒体なのですか？先日も環境省から段ボール箱パンフレットをもらいましたが、実際に読む人はどれだけいるのでしょうか？ゴミになったりします。登山口やビジターセンターでもらってもすぐ見て登らないと思います。出発前にネットで調べたりするのでPDF化など広報は色々MIXして欲しいと思います。
16:37	上川自然保護官事務所 野川	他の機関の方にも、ゴミにならないように口で説明してもらうなどご協力をお願いすることもありますが、よろしくをお願いします。
16:38	アースウィンド 横須賀	質問ですが、近年急激な大雨がありますが、7、8年前に黒岳8号目付近で地滑りがあり通行止めになりました。登山道管理水準からいくと危険だから通行止めにしなきゃいけないのかもしれませんが、どれくらいのレベルか見たくて行ってみると庭の道が崩れた程度の感覚でした。地滑りが拡大するような危険なときは通行止めにしてもらいたいですが、それと管理水準の関係性がよくわかりません。どのように判断していつ誰が通行止めにして誰が解除するのか？これから大雨が降ったりしますので把握しておきたいです。
16:38	上川自然保護官事務所 野川	登山道の通行止めは管理しているところによって変わって来ますが、国立公園内の登山道は事業執行者がいる道とない道があります。事業執行者がいる道は事業執行者、いないところは土地所有者の判断となります。道を開ける・閉めるに関してはその事業執行者や土地所有者が大雪山グレードも参考にしてもらいつつ、この状態では歩かせられないとなると一時通行止めといった個別判断になると思います。
16:40	東川自然保護官事務所 岸田	その他、ご意見・共有事項ありますでしょうか？ 《意見無し》 それでは予定していた議事が全て終わりましたので、最後に閉会の挨拶を上川自然保護官事務所の野川自然保護官よりお願いします。
16:40	上川自然保護官事務所 野川	短い時間でしたが意見交換ありがとうございました。これだけの皆さんと一同にお会いするのは次は秋の情報交換会だと思います。その際にはワンシーズン過ぎた後の大雪山の情報や登山道の情報を教えて頂きたいと思っています。お客様をご案内する立場の方もいらっしゃると思いますので、行政とは別目線の意見を頂ける重要な情報源ともなります。頭の隅に、秋にまた情報交換会があることを入れて過ごして頂いて、秋のシーズンは皆様の忌憚のないご意見を頂いて次のステージに進めればと思っています。本日はありがとうございました。